

平成30年1月21日

研修報告書

まつど自民

研修：宇部市スポーツコミッションについて

日時：平成30年1月21日（月） 14時～15時半

場所：宇部市議会

【研修報告】



宇部市はスポーツ関係団体、健康・福祉団体、観光関係団体、民間事業者及び行政機関の組織、情報、人材をつなぐネットワークとしてスポーツコミッションを設立しました。

- ① スポーツを楽しむまちづくり
- ② 健康寿命のまちづくり

以上2点が大きな目的となります。

どのような取組をしているのか具体的な説明がありました。

★チャレンジデーを開催

チャレンジデーというのは、毎年5月の最終水曜日に15分以上続けてからだを動かした人の住民の参加率を他の自治体と競う、**まちの威信と名誉**をかけた住民参加型のスポーツイベントです。大体同じ人口の自治体と競い合い、平成29年は神奈川県秦野市と対戦したとのことでした。

★オリンピック巡回指導・パラリンピアン交流事業

小中学生を対象とした実技指導を通して青少年の育成及び地域におけるスポーツ活動の振興を図ります。また、パラリンピックに出場された方による、病気やケガによる障がいの受容や失われた身体機能を補う努力などの講演等を行う

とのことです。

★笹川スポーツ財団 共同実践事業

宇部鴻城高校野球部によるロープジャンプや新川連合いそじ会によるラジオ体操等、官民の連携、人材や施設の活用を通して質の高い指導者を市内に派遣しています。

以上から宇部市が一丸となってスポーツを通して市民の健康づくりを行っていることがわかりました。

課題としては、宇部市が事務局となっており、膨大な業務量であることや、予算がすべて市の持ち出しということにあります。それを解消するべく一般社団法人化も検討しているとのことでした。

(まとめ)



一番興味があったのがチャレンジデーです。神奈川県秦野市と宇部市が運動参加者数を競うというものですが、これを本市も取り入れられたら面白いと思いました。というのも、社会人野球で都市対抗野球というものがあります。都市と都市が対戦するということは大変盛り上がり、市が一丸となるきっかけになりやすいからです。今何が起こるか分からないときに、防災の観点からも市が一丸となるきっかけづくりを行政は進めていくべきと思いました。

以 上